

# 組合員の“困ったな”を みんなの力で解決!

自己改革  
取組み中!

※組合員の声を聴き、ニーズに応えるため、  
これまでのやり方を工夫・見直す取組み

野菜の作り方を  
教えたり  
作った野菜を  
売ったり

食と農と緑を守り  
地域のために!

お金を  
預かったり  
貸したり



病気とか  
もしもの備えを  
いっしょに  
考えたり

- I JAってなあに
- II 組合員の「困ったな」を解決
- III 「地域・協同活動の活性化」
- IV 中期3カ年経営計画の実践による自己改革の取組み
- 農業所得向上に向けた取組み経過

# JAってなあに



一人はみんなのために  
みんなは一人のために



## Q. JAの使命ってなに？

### A. 組合員の「困ったな」を解決すること

農業経営や日々の暮らしにはいろんな「困ったな」がいっぱい。JAは組合員の「困ったな」を解決するために活動してきました。それはJAが協同組合だからです。

## Q. JAを作り・利用・運営するのは誰？

### A. 組合員です。

JAを1つの店に例えると、組合員は店を立てる際の出資者でありながら、その店の利用者であり、経営者にもなります。

## Q. 「協同組合」はどうして生まれたの？

A. 小規模な生産者（農業者、漁業者など）が力を合わせることで資本力のある企業と対等に取引し、自分たちの暮らしを守るために生まれました。



## Q. JAって、どんな仕事をしているの？

A. JAは、営農指導・農産物の販売・購買（生産資材の共同購入）・信用（銀行）・共済（保険）など多くの事業を組合員に「総合事業」として、一体的に提供しています。

信用・共済事業は、「総合事業」としての強みが発揮できる事業で、JAに欠かせないものとなっています。

## Q. 株式会社とどこが違うの？



協同組合

お互いに助け合うことで組合員の営農とくらしを守り向上させることが目的です。



株式会社

利益をあげて投資家に配当することが目的です。

JAは組合員が助け合う組織です。  
JAの剰余金は、地域農業振興のための営農指導や施設投資など、みんなのために使われています。

## Q. JAの自己改革ってなに？

A. そもそもJAは組合員のものです。

JAの運営は組合員が参加し、組合員の営農とくらしを守るため“自主的な改革”を通じて、組合員の「困ったな」を解決していきます。



皆様の営農やくらしを守るため  
皆様の声をお届けください

# II

## 組合員の「困ったな」を解決

組合員の営農とくらしには「困ったな」がいっぱい

- 農畜産物が高く売れない
- 買い叩かれる
- 有利な価格で仕入れたい



一人ひとりでは解決できない「困ったな」をみんなの力で解決



共同販売・共同購入

- 栽培方法が分からない
- 営農技術が高まらない



技術の向上のための営農指導



- 高齢化、後継者不在、労働力不足で、農作業をちょっと手伝ってほしい
- 規模を拡大したいが、出荷作業に手が回らない

農作業受託の引き受け



共同施設の設置



- 資金が足りない
- 貯金をしたい



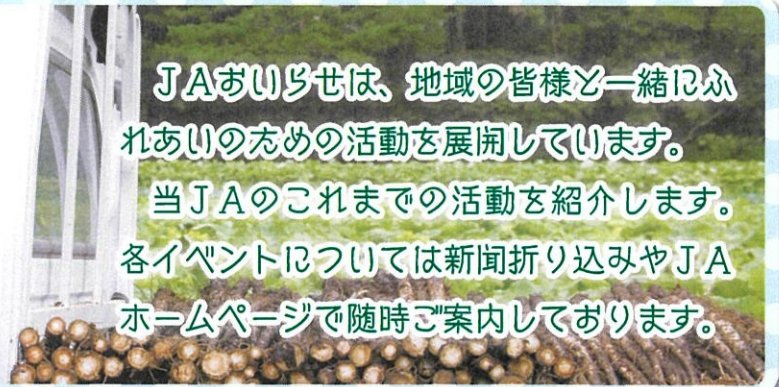
JAバンク

- 不慮の事故や自然災害が心配



JA共済

# III 「地域・協同活動の活性化」



J Aおいらせは、地域の皆様と一緒にふれあいのための活動を展開しています。

当J Aのこれまでの活動を紹介します。各イベントについては新聞折り込みやJ Aホームページで随時ご案内しております。

女性の積極的な社会参加、活躍を応援！

## 「ママとキッズの親子DEワークショップ」開催

仕事や家事、子育てで忙しい農家女性に子どもと一緒に過ごす時間や息抜きの場として親子で楽しむワークショップを開いています。



交通安全の意識を育む

## J A共済 アンパンマン交通安全キャラバン

J A共済アンパンマン交通安全キャラバンでは、小さなお子様を対象に、アンパンマンと一緒に歌って踊って楽しく交通ルールを学びます。



©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV

## 年金友の会

健康でいきいき



J Aおいらせの貯金口座で年金受取をしている約3000人の会員の皆様と会員相互の親睦を図り、楽しく活動しています。

グラウンドゴルフ大会といった趣味を通じた健康づくりや毎年2月にはショーや演芸などを楽しんでいただく「年金友の会総会」を開催しています。

地元農産物の販売体験

## 春休み・夏休み わくわく探検隊

三沢市、六戸町の小学生を対象に1泊2日の日程で、消費地の直売所で当J A組合員の生産した長いもや黒にんにくのPR販売をしています。平成30年度は千葉県や秋田県のJ A農産物直売所で対面販売を行いました。



農業を体験！

## 地域の子どもたちへの食農教育、 選果施設見学の受入れ



管内の保育園、小・中学校へ、青年部員や女性部員、JA指導員が植え付けから収穫を手伝い、地元で作られる米や野菜を学び、食と農業への理解をすすめています。

また、選果施設の見学も受け入れています。

(米作り) 三沢市立おおぞら小学校

(バケツ稲) 六戸町立六戸小学校、大曲小学校

(野菜作り) 六戸町立大曲小学校、開知小学校

(選果施設見学) 三沢市立岡三沢小学校、木崎野小学校、上久保小学校

地元農産物をPR

## 地域イベントに出店



青年部、女性組織がみさわ港まつりや地産地消フェア、ろくのへメイプルタウンフェスタに出店し、手作り串もちやごぼううどん、手作り加工品を通じて特産品のPR販売をしています。

親子で食と農の大切さを学ぶ

## ちゃぐりんフェスタ



「ちゃぐりんフェスタ」を8月に開催しています。じゃがいもとブルーベリー収穫、特産野菜を使った昼食作りなど、親子で楽しく農業を学ぶ体験イベントです。

※「ちゃぐりん」は家の光協会発刊の小学生向け雑誌の名称です。

地域の子どもたちを応援！

## JAおいらせ杯 少年少女スポーツ大会



春と秋の年2回、少年野球と女子バレーボール大会を開いています。上位入賞チームには、地元産米「まっしぐら」を贈っています。

# IV

## 中期3カ年経営計画の実践による 自己改革の取組み (H29~)

JAでは、「農業者の所得増大、農業生産の拡大」「地域・協同活動の活性化」「結びつき・経営基盤の強化」の3つの基本目標を掲げ、自己改革に取組みをすすめています。

### 1. 農業者の所得増大、農業生産の拡大


<重点施策>

#### ①地域の担い手の育成と支援・強化

重点実施事項	具体的な取組
担い手経営体 多様な担い手の育成強化	作業受託の拡大
	TAC活動による担い手ニーズ把握
	今後の地域農業を担う若手農業者との交流・情報交換



#### ②安全・安心な農畜産物の安定生産

「おいらせブランド」の確立 	生産工程管理 (GAP) の導入とトレサビリティの徹底 残留農薬検査の実施 →GAP指導員の養成と分析費用の助成
	実需に応じた契約栽培
	消費地での消費宣伝活動の実施
	特産品詰合わせ「もっこりセット」 大玉にんにく「匠にんにく」の販売促進



#### ③生産・販売戦略策定による産地づくり

部会組織の活性化と 計画生産販売体制の確立	部会活性化による系統共販率の向上
	農産物登録制度による計画生産販売体制の確立

#### ④労働力不足解消による産地維持



外国人実習生・無料職業紹介事業	作業受託事業の拡大
	農業技能実習生の受入れ
	無料職業紹介事業を活用した労働力支援



## 2. 地域・協同活動の活性化

### <重点施策>

#### ①くらしの活動を通じた地域コミュニティの活性化

重点実施事項	具体的な取組
(1) 食育・食農教育の充実強化青年部・女性部の協力を得て小学校と連携した稲・野菜の作付け収穫体験学習を実施します。 	 <ul style="list-style-type: none"> <li>・バケツ稲、田植え、稲刈り収穫体験</li> <li>・野菜の植付け、収穫体験</li> <li>・ちゃぐりんフェスタの開催（じゃがいも・ブルーベリー収穫体験）</li> <li>・バター作り体験（JAまつり・メイプルタウンフェスタ）</li> <li>・ハロウィーンかぼちゃを作ろうイベント</li> </ul>
(2) JAくらしの活動の実践	福祉施設の慰問活動
(3) 員外次世代への「JA」のPR	行政サイドと連携したJAまつりの企画 (みさわ地産地消フェア・六興祭)

#### ②金融・共済サービスの強化による取引基盤の拡充

(1) 農業・生活メインバンク機能の強化	・次世代層・新規利用者への給与振込口座指定、決済機能のセット推進によるメイン化促進
(2) ひと・いえ・くるまの総合保障の拡大	・全戸訪問による世帯内深耕と地域全体への保障拡充 ・次世代、ニューパートナー拡大対策による子育て世代の接点強化を図る活動強化

## 3. 結びつき・経営基盤の強化

### <重点施策>

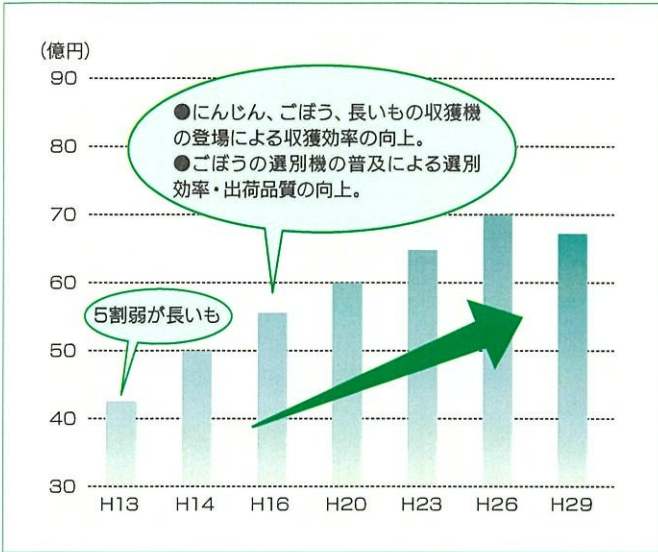
#### ①結びつき強化による協同活動の活性化

(1) 下部組織との交流を積極的に図り、地域・組合員・住民との結びつきの強化	青年部・女性部・後継者等との交流会開催
(2) 地域農業とJA活動への理解醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌「SCRUM」の発行</li> <li>・地域住民向けコミュニティ誌の発行</li> </ul>

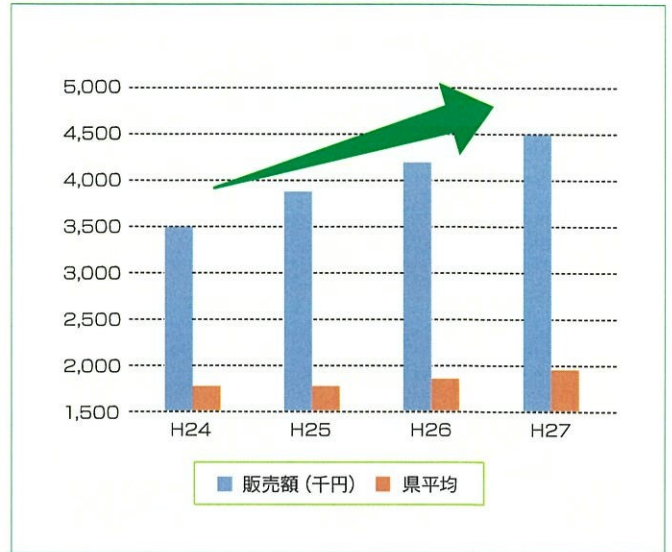


# 農業所得向上に向けた取組み経過

## ■ やさい販売額の推移



## ■ 一正組合員当たりの販売品販売額



## ■ 施設の充実

年月	内容
H15. 3	にんにく冷蔵貯蔵施設
H18.11	長いも洗浄選別・貯蔵施設
H20.11	ごぼう冷蔵貯蔵施設
H24. 7	にんじん洗浄選果施設

## ■ 利用事業 (受託作業事業)

項目	内容
にんじんの収穫作業	出荷登録の約90% 110ha→190ha
無人ヘリコプター (防除)	●水 稲 (H10年度～) 1,354ha ●長いも (H28年度～) 125ha

## ■ 労働力支援

- ・外国人技能実習生の受け入れ
- ・無料職業紹介事業を活用した支援

## ■ 購買事業 (生産資材) に係る所得向上支援

### 1. 計画購買による生産資材の安価供給

- 定期的な予約注文の取りまとめによる、計画的な購買を推進し安価供給を実施。

### 2. 予約注文書の充実 (各品目の写真を掲載)

- 肥料→作物ごとに生産者の作業内容に応じて、複数のタイプをセット肥料として掲載。
  - 防除薬剤→作業時期ごとに使用薬剤、使用方法を掲載。
- ※肥料、農薬の使い方の手引書となり、窓口対応の向上にもつなげている。

### 3. 予約注文による購買未収金の決済

- 12月末まで無利息。
- また、早期支払価格を設定し、予約注文肥料の早期の代金支払いには、予約未収価格より低い単価を設定。

### 4. 大口利用者への助成

- 農業資材 (肥料、農薬、ダンボール、種子) の大口利用者への助成措置。

### 5. 肥料引取りの値引き

- 予約注文肥料の早期引取りで、予約価格より値引きを実施。
- 予約、当用に限らず、組合員が自分で運搬する場合には、値引きを実施。

### 予約注文書の充実 例


品名	単価	数量	金額
CDUC20	2,749円	4袋	10,996円
パワースト	2,589円	4袋	10,356円
農薬 (防除)	689円	5袋	3,445円

品名	単価	数量	金額
トップシールド	800円	71	56,800円
トレボン	1,000円	141	141,000円
バルコート	1,000円	71	71,000円
アミノ酸	4,000円	71	284,000円
アミノ酸	400円	141	56,400円
アミノ酸	2,000円	71	140,000円
アミノ酸	2,000円	71	140,000円
アミノ酸	2,000円	71	140,000円

JAでは、今後も組合員・地域の皆さまの期待に応えられるよう、農業と地域活性化に向け、取組みを進めてまいります。



# 1. 農業者の所得増大への支援力発揮

取り組みの名称				
担い手経営体への支援強化				
取り組みの目的・コンセプト				
常勤役員による担い手農業者訪問による J A 事業への意見要望等の聞き取り。 地域農業を担う若手農業者と J A 若手職員の交流による関係強化。 若手育成塾開講による若手農業者の栽培技術支援。				
参集範囲	正組合員	○	職員	○
	准組合員	○	その他	○
	地域住民	×		
取り組み内容				
<p>1. 常勤役員による訪問活動の実施</p> <p>(1) 訪問者 代表理事組合長、代表理事専務</p> <p>(2) 訪問時期 月2回、2人×3経営体</p> <p>(3) 訪問先 担い手農業者</p> <p>2. 営農部職員による訪問活動の実施</p> <p>(1) 訪問時期 毎月</p> <p>3. 若手農業者との交流活動の実施</p> <p>(1) 開催時期 9月、3月の年2回開催</p> <p>4. 若手育成塾の実施</p> <p>(1) 開催回数 年2回(長いも)</p>				
 <p>沖澤組合長が六戸町林地区と七百地区の担い手農家を訪問 (2017.10.12)</p>				
実績(人数・経費等)、効果等				
<p>1. 訪問件数</p> <p>(1) 常勤役員による訪問は19件。</p> <p>(2) 営農部職員による訪問は延べ879件。</p> <p>(3) 若手農業者との交流活動の参加者は若手農業者29名、若手職員39名。</p>				

# 1. 農業者の所得増大への支援力発揮

取り組みの名称				
安全・安心な農畜産物の安定生産				
取り組みの目的・コンセプト				
市況に左右されない安定的な所得が見込まれる契約販売の取り組み拡大。 産地確立による計画出荷を図る為、作業受託事業の拡大。 農産物の付加価値をつけた販売への取り組み。				
参集範囲	正組合員	○	職員	○
	准組合員	○	その他	○
	地域住民	○		
取り組み内容				
1. 契約販売の実施 (1) キャベツ (2) ごぼう 2. 作業受託事業の実施 (1) じんじん収穫作業 (2) 無人へり防除 3. 付加価値をつけた農産物の販売 (1) 匠にんにく (2) もっこりセット		 <p>人参オペレーター協議会による夏ニンジンの収穫作業</p>		
実績（人数・経費等）、効果等				

## 1. 契約販売

- (1) キャベツ 平成29年度実績：面積 830 a (前年比150%)  
出荷数量 511トン  
販売額 27,942千円 (前年比104%)
- (2) ごぼう 平成29年度実績：面積 1,230 a (前年比106%)  
出荷数量 214トン  
販売額 19,203千円 (前年比104%)


## 2. 受託事業

- (1) にんじん 体制整備前110haだった面積が190ha (H29現在) まで拡大
- (2) 無人ヘリ 水稲防除に利用していた無人ヘリを平成28年から長いも防除にも利用を拡大させ、平成29年度は約89ヘクタールで実施。

## 3. 付加価値をつけた農産物の販売

- (1) 匠にんにく 規格3L以上に付加価値を付け、1箱6個入(3,000円)または4個入(2,000円)の化粧箱入りで商品を販売している。  
(1個当たり500円、通常の市場出荷品は1個当たり約200円)
- (2) もっこりセット 長いも・にんにく・ごぼうの詰め合わせを販売している。  
両商品は自治体のふるさと納税返礼品に採用されている。

## 2. 地域活性化への貢献力発揮

取り組みの名称					
地域コミュニティの活性化					
取り組みの目的・コンセプト					
小学校と連携した稲、野菜の作付収穫体験の実施。 ちゃぐりんフェスタの実施。 J A主催の少年少女スポーツ大会の実施。					
参集範囲	正組合員	○	職員	○	
	准組合員	×	その他	×	
	地域住民	○			
取り組み内容					
1. 作付収穫体験の実施				 <p>女性部員とジャガイモの植え付けをする 六戸町立大曲小学校児童（2017.5.8）</p>	
(1) 田植え、稲刈り	おおぞら小学校				
(2) バケツ苗	六戸小学校				
(3) ジャガイモ植付収穫	大曲小学校				
2. ちゃぐりんフェスタの実施					
(1) 実施時期	8月				
3. スポーツ大会の実施					
(1) 実施時期	春：4月 秋（新人戦）：9月				
実績（人数・経費等）、効果等					
1. 参加人数					
(1) 田植え、稲刈り	児童延べ201名、青年部員延べ25名				
(2) バケツ苗	六戸小学校児童47名				
(3) ジャガイモ植付収穫	大曲小学校1年生、6年生、女性部4名				
(4) ちゃぐりんフェスタ	児童32名				
(5) スポーツ大会	春：野球10チーム、バレー8チーム 秋：野球8チーム、バレー6チーム				